

芸術科（音楽Ⅰ）学習指導案

- 1 日時・場所 令和6年1月30日（火） 第1音楽室
- 2 学年・学級等 第1学年（男子8名、女子24名）
- 3 題材名 自己のイメージをもって歌おう
- 4 教材名 小さな空（武満徹作詞・作曲、三宅悠太編曲）

5 題材について

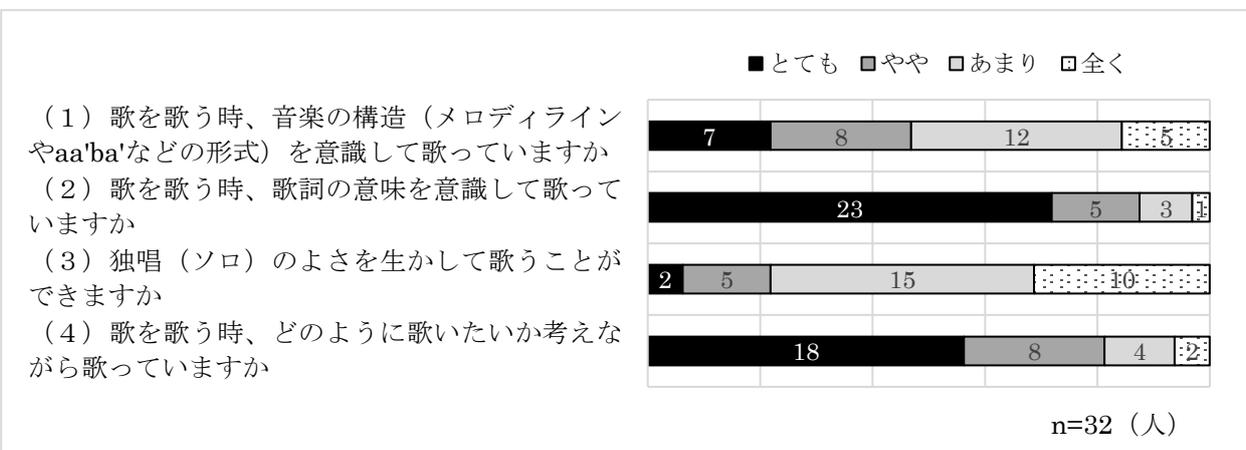
○ 題材観

本題材は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）芸術科（音楽Ⅰ）のうち、内容A表現(1)歌唱のア、イ(ア)、ウ(ウ)を踏まえ設定した。曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解し、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付けながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することをねらいとしている。

教材として取り上げる「小さな空」は、二部形式の有節歌曲であり、繰り返されるシンプルな旋律と、幼い頃の記憶に思いを馳せる歌詞が味わい深い楽曲である。生徒の思考・判断のよりどころとなる音楽を形づくっている要素を「旋律」「形式」とすることで、本題材のねらいに迫ることのできる教材であると考えている。なお、「小さな空」には、混声合唱など、様々な表現形態への編曲があるが、本題材では独唱を取り扱う。

○ 生徒観

これまでに生徒は、歌唱の活動として、斉唱（「Ave Maria」「東京ブギウギ」）、同声二部合唱（「翼をください」）、混声三部合唱（「ぼくはぼく」）などの表現形態を経験している。独唱は、音楽Ⅰでは初めての取組となる。事前に行ったアンケートでは、次のような結果が得られた。



アンケート（2）から、歌唱の活動において、9割近くの生徒が歌詞の意味を考えながら歌っていることが

分かった。また、(4) から、どのように歌いたいかについて考えをもつことができる生徒も8割程度いることが分かった。一方(1)(3)からは、旋律や形式など、音楽の構造を意識して歌っている生徒は4割程度、独唱という表現形態のよさを生かして歌っている生徒は2割程度であることが分かった。これらの結果から、多くの生徒が、曲想と歌詞との関わりについて理解し表現意図に結び付けることができていると考えられる一方で、曲想と音楽の構造との関わりについて理解したり、独唱という形態を生かした表現に結び付けたりすることが難しい実態があると考えた。

○ 指導観

多くの生徒が歌詞に着目しやすい実態を生かして、第1時では1番、2番、3番の歌詞の意味を比較しながら歌う活動を設定することとした。また、独唱の活動を、グループでの学習として設定することで、一人一人の個性を生かすことのできる独唱のよさに気づきやすくする。

第2時は、旋律の動きや形式に着目して表現を工夫させるために、スライドを用いて楽譜を共有しながら歌う活動を設定することとした。旋律の動きや二部形式(aa' ba')の構成を可視化したり、音名で歌ったりすることで、曲想と音楽の構造との関わりについて理解させやすくする。

第3時は、独唱のよさに気づきやすくするために、合唱版と比較聴取する場面を設定する。また、自己のイメージを膨らませるために、生徒相互及び教師と自由な意見交流ができるよう工夫する。

最終的に、独唱を撮影したデータを「歌ってみた動画」として提出させる場面を設定することで、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することを促すこととした。

6 題材の目標

(1) 知識及び技能	(2) 思考力、判断力、表現力等	(3) 学びに向かう力、人間性等
曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付ける。	旋律、形式を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、どのように歌うかについて表現意図をもつ。	曲想と歌詞との関わりを味わいながら独唱することに興味をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む。

7 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。(知識) 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。(技能)	旋律、形式を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	曲想と歌詞との関わりを味わいながら独唱することに興味をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

8 指導と評価の計画 (全4時間)

時	○学習内容 ・学習活動	知・技	思	態
		<内は評価方法		
1 本 時	<p>◆ねらい 「小さな空」の歌詞が生み出す曲の味わいに関心をもち、独唱に親しむ。</p> <p>○「小さな空」の旋律を知る。 ・範唱を聴き、全員で1番を歌う。 ・歌ってみてどのような印象をもったか、知覚したことや感受したことを基にグループで話し合う。 ・話し合った内容をフォームで回答し、全体で共有する。 ・再度全員で1番を歌う。</p> <p>○「小さな空」の歌詞の内容や曲想に関心をもち。 ・グループに分かれて、1～3番を歌う。 ・1～3番の歌詞について、気付いたことをグループで話し合う。 ・1～3番の冒頭をどのように歌おうとよいか、歌詞を基に歌い試しながらグループで考える。</p> <p>○独唱に親しむ。 ・グループで1～3番の担当を決め、冒頭部分を独唱でリレーする。(bの部分は斉唱する。) ・歌詞を基に、どのように歌おうと考えたのかをワークシートに記述する。</p>			
	<p>◆ねらい 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、表現意図をもつ。</p> <p>○歌詞が生み出す曲の表情を味わいながら歌う。 ・前時のワークシートの記述から一部を紹介する。 ・前時を思い出しながら、全員で1～3番を歌う。</p> <p>○「小さな空」の旋律の特徴に気付く。 ・「小さな空」を音名で視唱する。 ・楽譜を基に、視唱して気付いたことをグループで話し合う。 ・話し合った内容をフォームで回答し、全体で共有する。 ・反復している部分と、変化している部分を音名で歌い比べ、曲想の違いを確認する。</p> <p>○旋律の特徴を生かして歌う。 ・グループで、1番のaa'の部分について、どのような表現が可能か、歌詞をつけて歌い試しながら考える。 ・考えた表現を斉唱している場面を撮影し、2パターン提出する。 ・1～3番のba'の部分について、どのような表現が可能か歌い試しながら考える。 ・旋律の特徴を基に、どのように歌おうと考えたのかを、ワークシートに記述する。</p>	知 <観察> <動画> <ワークシート>		
3 ・ 4	<p>◆ねらい 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを生かして独唱を創意工夫する。</p> <p>○創意工夫を生かした表現をするための歌い方を追求する。 ・前時までに取り組んだ音楽表現の創意工夫を想起しながら、全員で斉唱する。</p> <p>○独唱のよさを生かした表現を創意工夫する。 ・独唱版と合唱版を比較聴取する。</p>			態 <観察> <ワークシ

<ul style="list-style-type: none"> それぞれのよさをグループで話し合う。 ○自己のイメージをもって独唱する。 1～3番をどのように歌えば、独唱のよさを生み出すことができるかグループで話し合ったり、必要に応じて他のグループや教師と歌い試したりしながら、独唱を創意工夫する。 独唱を撮影し、「歌ってみた動画」として提出する。 独唱という表現を生かすために、どのように歌おうと考えたのかを、ワークシートに記入する。 曲想と歌詞との関わりを味わいながら、全員で1～3番を斉唱する。 	技 <観察> <動画>	思 <観察> <ワークシート>	一ト
---	--------------------------	------------------------------	----

9 本時の展開

(1) 本時のねらい

「小さな空」の歌詞が生み出す曲の味わいに関心を持ち、独唱に親しむ。

(2) 学習の展開

	学 習 活 動	指導上の留意事項 (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準 評価方法
導 入	1 課題意識をもつ。 ・既習曲「東京ブギウギ」を1番だけ歌う。 ・「小さな空」の範唱を聴き、全員で1番を歌う。 ・課題を確認する。	・教師が楽しそうに歌うことで、安心して歌える環境をつくる。 ◆旋律パートだけを抜き出した楽譜及び音楽に合わせて歌詞が浮かび上がる動画を用意しておき、教科書の楽譜以外の選択肢があることを紹介する。	
課題 同じ旋律の繰り返しを生かした表現を工夫する ～“独唱「小さな空」を本気で歌ってみた！”動画作成～			
展 開	・「小さな空」の1番を斉唱する。 ・歌ってみてどのような印象をもったか、知覚したことや感受したことを基に3～4人グループで話し合う。 ・話し合った内容をフォームで回答し、全体で共有する。 ・再度全員で1番を歌い、フォームの回答と照らし合わせる。 2 「小さな空」の歌詞の内容や曲想に関心をもつ。	◆「どんな季節だと思いますか?」「こどもの頃って何歳頃でしょうね。」などと問いかけ、イメージを広げる視点をもたせる。 ・回答をリンクしたスプレッドシートに、生徒が自由にアクセスできるように事前に設定しておく。 ・「切ない」などと回答した生徒に、「どの部分が切なさを感じさせましたと思いますか?」と問うなど、感受したことと知覚したこととの関わりに気付かせる。 ・「切なくなると言ってくれた「こどもの頃を…」の部分味わいながら歌ってみましょう。」などと声をかけ、歌詞の内容や曲想に関心を向けさせる。	

	<ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれて、1～3番を歌う。 ・1～3番の歌詞について、気付いたことをグループで話し合う。 ・1～3番の冒頭をどのように歌うとよいか、歌詞を基に歌い試しながらグループで考える。 <p>3 独唱に親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで1～3番の担当を決め、冒頭部分を独唱でリレーする。(bの部分は斉唱する。) ・歌詞を基に、どのように歌おうと考えたのかをワークシートに記述する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・範唱音源、伴奏音源を事前に配信しておく。 ・3～4人で輪になって歌う。 ◆「出だしの部分はどう違いましたか?」「1～3番までで同じところはありませんでしたか。」などと問いかけ、イメージを広げる視点をもたせる。 ・「1～3番の冒頭部分の歌詞は、どのように変化していましたか?」「その変化を生かすために、みなさんならどのような声で歌いたいですか?」と問いかけ、歌い試しながら考えるよう促す。 ◆「青空って聞いて、どんなイメージをもちますか?」「どんな声で歌うと似合うかでしょうね。」などと、音色に着目して工夫できるように声をかけ、必要に応じて実際に歌って比べさせる。 ・aa'の部分は独唱、bの部分は斉唱、最後のa'は独唱で、グループ内でリレーのように歌わせる。 ・斉唱部分をつくることで、協働的に学ぶ雰囲気をつくる。 ・1～3番の担当を輪番にすることで、歌詞による1～3番の曲想の違いを感じ取りやすくする。 ◆独唱に不安を感じる生徒は、2人で挑戦させるなどしながら、独唱への抵抗感を減らす働きかけをする。 ◆曲全体について記述することが難しい生徒には、気に入った箇所だけ取り上げて書くなどの選択肢を示す。 	
<p>ワークシート記述例</p> <p>「1番は青空の綿雲、2番は夕日、3番は夜空の小さな星というように、空の景色がだんだん静かな感じに変わっていることが分かる歌詞なので、同じ旋律なんだけど、1番の最初は明るいのびやかな声で、2番は少ししっとりとした声で大人っぽく、3番はぼつりぼつりと独り言をつぶやいているように歌えると、変化が出て、歌う自分も楽しいし、他の人も飽きずに聴きたくなるかなと思った。」</p>			
<p>まとめ</p>	<p>4 本時のまとめを行う。</p> <p>5 本時を振り返り、次時につなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数名を指名し、ワークシートを基に本時の感想を発表させる。 	